

1

実戦演習

総合問題①

学習日

—

問題

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。
(成城中学校)



SAMPLE

工 なぜ日本人はこんなに変わったのか

□ (4) — 線③「宣長が考えていた日本人の本質」とはどのようなものですか。それを説明した次の文の に入る最もふさわしいことばを、本文中の「」の部分から三十字（読点も字数に数えます）でさがし、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

〈 〉 を持っていること。〉

□ (5) — 線④「このような桜の風情」とありますが、宣長はどのような桜をすばらしいと考えていますか。その説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 桜の花はふだんはあまり匂わないが、朝晩に良い香りを放つところはずばらしい。

イ 桜の花はいつ見ても色鮮やかだが、朝日や夕日に輝く様子は特にすばらしい。

ウ 曇った空ではそれほどではないが、晴れた日に光に照らされた桜はすばらしい。

エ 桜は遠くから見てもすばらしいが、近寄って青空に透かして見るとなおすばらしい。

□ (6) ②・ ③ に入る最もふさわしいことばをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ あるいは ウ したがって
エ けれども オ むしろ

□ (7) ④ に入る最もふさわしいことばを、これより前の本文中から四字で書きぬいて答えなさい。

②
③

□ (8) — 線A・Bの説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア Aは日本人の心に疑問を感じているが、Bはゆるぎない信念をいだいている。

イ Aは日本人の心を美化しているが、Bはあってほしい姿として書かれている。

ウ Aは日本人の心を肯定的にとらえているが、Bは否定する気持ちになっっている。

エ Aは日本人の心に可能性を見出しているが、Bはありのままの現状を受け入れている。

□ (9) 本文の内容にあてはまらないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 宣長は人間の本性が善であり美であると考えていた。

イ 宣長は桜の花が美しく日に映えている風景を歌にした。

ウ 宣長は自然に包まれて静かに暮らすことを理想としていた。

エ 宣長は素直な心を表現するものとして和歌をとらえていた。

②

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(カリタス女子中学校)

SAMPLE

SAMPLE

(注)

鼻腔⇨鼻の中の空間。

カローラ⇨車種の名前。

分水嶺⇨二つ以上の川の流れを分ける境界となる山。

デスマッチ⇨プロレスなどで、どちらか一方が完全に倒れる

まで戦う試合。命がけのはげしい戦い。

しんちゅう⇨金属の一種。黄色で、さびにくい。

〈八束澄子「海で見つけたこと」より〉

クエスチョンマーク⇨疑問符。「？」のこと。
 だらすけ⇨北陸や山陰さんいんの方言で「おろか者」という意味。

□(1) ——— 線①「とうさんの背中にとびついた」とありますが、「わたし」はどういうつもりでそうしたのですか。書いて答えなさい。

--

□(2) ——— 線②「……十倍かあ」とありますが、この言葉には、とうさんのどのような気持ち表れていますか。その説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア「わたし」が予想以上に重かったのでおどろいている。

イ「わたし」が元気なことを看護婦さんに感謝している。

ウ「わたし」が生まれてからのことをなつかしんでいる。

エ「わたし」が育った分自分が年をとって悲しんでいる。

オ「わたし」がうそを言っているのだろうと疑っている。

--

□(3) — 線③「わたしたちはとたんに無口になった」とありますが、なぜ無口になったのですか。その理由としてふさわしくないものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア だまって集中していないと危険だと思ったから。
- イ 天気が悪くなってきて気持ちも暗くなったから。
- ウ 目的地に近づいたのがはつきり感じられたから。
- エ 急に周囲の様子が変わったのでおどろいたから。
- オ 以前からの悪い予感が現実のものになったから。

□(4) — 線④「いえたら、どんなにいいだろう」とありますが、なぜ言えないのですか。説明しなさい。

□(4) — 線④「いえたら、どんなにいいだろう」とありますが、なぜ言えないのですか。説明しなさい。

□(5) ※ にあてはまることを、「**し者**」という形で書いて答えなさい。

□(6) — 線⑤「風になぶられた髪の毛が顔をおおってくれているので、助かった」とありますが、なぜ「助かった」のですか。説明しなさい。

□(6) — 線⑤「風になぶられた髪の毛が顔をおおってくれているので、助かった」とありますが、なぜ「助かった」のですか。説明しなさい。

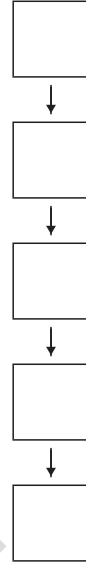
□(7) — 線⑥「あーあ、行っちゃった」とありますが、このときの「わたし」はどのような気持ちでしたか。それを表すことばとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 未練 みれん
- イ いらみ
- ウ 後悔 こうかい
- エ あきらめ
- オ 絶望

□(8) — 線⑧「ゆっくりと周囲を見まわした」、⑨「もう一度ゆっくりと周囲を見まわした」とありますが、⑧のときと⑨のときとは、気持ちの上でどういふちがいがありますか。書いて答えなさい。

--	--	--

□ (9) この文章は、回想をまじえる形になっています。A～Eの五つの場面を時間の流れにそってならべるとどのようなようになりますか。記号で答えなさい。



③ 次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。(成城中学校)

街をゆき子供の傍を通るとき蜜柑の香せり ※ がまた来る

木下利玄

□ (1) ※ に入る季節を、漢字一字で書いて答えなさい。

□ (2) この短歌の解釈として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 思いがけないところで季節を感じさせてくれた子供に感心している。

イ 季節の移り変わりに気づかされ、新たな季節に気がふさいでいる。

ウ きつい香りが子供から漂ってくることに、うっとうしさを感じている。

エ 蜜柑の香りに瞬間的に季節の到来を感じ、子どもをほほえましく思っている。

4 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。(青山学院中等部)

〔石垣りん作／三木卓編「行く」(『生命の詩』所収)より〕

□(1) — 線部「私は四十年以上生きてきた」から読み取れることとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分のふがいなさからくる罪悪感。
- イ 思いがけないことを発見した動揺どうよう。
- ウ 異世界の存在を受け入れる緊張きんちやう。
- エ 無意識だったものに守られる安心。

□(2) 詩の □(1) に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で答えなさい。

- ア むける
- イ こらす
- ウ つける
- エ みはる

(3) この詩を説明した次の文章について、あとの問いに答えなさい。

木や草が「立ちつづける」姿は、 自分の姿と重なる。
 まわりの事に目もくれず、社会の一員として責任を果たしてきた作者は、。
 「自分の行き先」とは、 を暗に示している。この詩は、
 年齢を重ねた作者が自分の人生をふり返るように て作った詩である。

① に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で

答えなさい。

- ア 休む間もなく人生を歩き続けてきた
- イ ゆっくりと単調な毎日を送ってきた
- ウ 誰にも頼らず孤立して生きてきた
- エ 大自然でいつも光を求めてきた

② に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で

答えなさい。

- ア 木や草にも生命があり、自分も生かされていると気づく
- イ 木や草の存在に気づこうと必死に努力してきた
- ウ 自分自身に精一杯で、木や草に見向きもしなかったと気づく
- エ 木を木として、草を草として認識する努力をしてきた

③ に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で

答えなさい。

- ア だれもがむかえるべき死
- イ 必ずなさねばならぬ使命
- ウ 得体の知れない可能性
- エ 人生を決める分かれ道

④ にはどんな表現が入りますか。詩の中から五字前後

のことばを選び、文章につながる形に変化させて書いて答えなさい。

④ (4) 詩の に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号

で答えなさい。

- ア にげるな
- イ 夢見るな
- ウ ひと休みしろ
- エ 早く行け